

## 一歩進んだ国際理解教育について

下吉田第一小学校では、グローバルな社会に生きていく子ども達の未来を見据え、「国際理解教育」を行っています。共通ツールの英語を学ぶと同時に、世界のいろいろな国の文化や民族文化に触れる機会を設け、多文化理解を推進しています。



### 【低学年から自然に英語に親しむ】

本校では毎週の朝の英語活動に加え、低学年でも月1回「英語で遊ぼうタイム」を設け、ゲームや歌、遊びなどを通して自然に英語に慣れ親しむことができる機会を設けています。写真は、市のALTリーダーと学級担任が工夫を重ねた授業の1コマです。また、冬季には全学年で英語の絵本の読み聞かせを実施しています。

### 【学んだ英語は実際に使わないと覚えにくい】

習った英語を使って、忠霊塔や下吉田駅、修学旅行や東京遠足でも積極的にインタビュー活動をしています。通じる経験がさらに大きな自信となっています。積極的に英語でコミュニケーションできるようになる児童もたくさんいます。写真は、品川駅での様子です。また、5年6年はTOEIC（国際コミュニケーション英語能力テスト）につながる検定も実施しています。



### 【広く世界の文化を知る授業】

世界の文化を知る授業。忠霊塔に多く訪れるタイやインドネシアの他、3年生ではフランス、4年生ではナイジェリア、5年生ではイスラム、6年生では中国について学びます。第一小では、英語圏に限らず色々な文化にふれる授業を実施しています。写真は、アフリカのナイジェリアについて英語の通訳を通して学んでいる授業です。児童は、興味津々の様子です。

## 【中国大連市の小学生と交流】

平成30年度には、中国の小学生を招いての交流会を行いました。6年生を中心に、言葉を超えた温かい交流ができました。大連市の小学生は、温かい積極的な下小児童の雰囲気感激していました。国際理解教育の成果が現れた時間でした。

